

昭和から平成、そして令和へと引き継がれる宝箱

支部長 鹿野 由貴

過日調べ物があり、支部長職で引き継がれている資料集を開きました。中に歴代支部総会パンフレットと出席者名簿の入っている袋があり、ふと気づくと調べ物そっこのけでこの「宝箱」を読み耽る自分がいました。

一番古いパンフレットは昭和 57 年。5 月 29 日に支部総会が東京プリンスホテルで開催されています。懇談会は作曲家 服部公一さんの講演「紅花と山形の女性」。出席者名簿には明治 44 年卒 1 名、大正 5 年卒 1 名と大先輩方の名前があります。全ページが手書きでした。昭和 58 年になると「明治」の文字は見当たりませんが、大正の卒業生はそれでも 6 名います。一部が活字になり、昭和 60 年からは全ページが活字印刷です。表紙に模様が入るようになった頃には、時代は平成へと流れていきます。



※昭和58年パンフレット「嚶鳴同窓会
会報57年7月24日発行より」

平成 2 年は私の学年が準備学年を務めました。司会は渡辺えり子さん。パンフレットを見ると、支部長の大宮文子さん、副支部長の神尾ひささんの名前に交じり「開会 栗林伊与子さん」「ピアノ伴奏 枅谷博子さん」「閉会 笠井ひで子さん」等、現支部でも活躍されている諸先輩方の名前があります。

私は準備学年総括として走り回っていた記憶しかありませんが、パンフレットが変わらぬ先輩方の支えを改めて教えてくれました。

ここ数年来、会計赤字や会費値上げ等の懸案が山積しており、評議員会や役員会は討議が続く日々です。行き詰りを感じることが多々ありますが、そのような場合には別の案や意見が必ず出てくるのです。

『吾が山形西高が嚶鳴の名にふさわしく、学友相依り相助け相励まし…』昭和 58 年のパンフレットには「嚶鳴」由来がこのように記されています。

支部の歩みと歴代会員の想いが詰まった「宝箱」を次の世代に引き継ぐためにも、今こそ会員各位の更なるご理解とご協力をお願いいたします。

山形県東京事務所訪問記

～支部の住所、お借りします～

副支部長 宮川 香子

皆さんは山形県の東京事務所をご存知ですか？

2 月 12 日に鹿野支部長と川田副支部長、私で東京事務所にお邪魔してきました。

東京事務所は県行政の運営に関し、中央官庁等との連絡・調整や県産業の振興および情報発信のため設置されていますが、実は、山形県人東京連合会への支援なども業務の一部になっているということで、東京事務所の住所をお借りする件をお願いに上がったのです。

東京事務所は平河町にある都道府県会館の 13 階にあり、赤坂御用地の美しい緑の森を見渡せます。都道府県会館には数多くの県の東京事務所が置かれているので、それぞれの県が趣向を凝らしたディスプレイで入口を飾っています。

東京事務所は中央官庁との連絡調整を行う総務調整課、民間企業の誘致や進出企業のフォローを行う企業振興課、観光や農産物の流通販売を担当する流通対策課の 3 つの課に分かれており、正規職員 17 名（国への出向 2 名含）と非常勤 4 名の 21 名の方



がいらっしやいます。なかなかの大所帯と思われるかもしれませんが、一番大きな調整課職員でも課長を含めて 7 名ですので、中央官庁全部をカバーするのはなかなか大変とのことでした。山形県に進出していただくために企業振興課が 29 年度に訪問した企業数はなんと 1685 件、その他にも展示会などに出向いて新たな訪問先を開拓されています。また、流通対策課の農業担当技官の方は、朝早くから東京の卸売市場をすべて回られているのですが、これは県産農作物が高値で取引される出荷時期など情報を収集するためとのことでした。

そんな職員の方々にはほぼ 2 年で交代するそうで、忙しいなあと思ったのですが、お話を聞く限りあまり心残りはなさそうでした。

私は山形で過ごした時間よりも東京に住んでいる期間がずいぶん長くなりました。県事務所の訪問をして、東京支部を通じた情報の発信などで、故郷山形を盛り上げていきたいと思いました。



□■□ 総会準備学年より

青山 智恵 (平成4年卒)

うらかな風に誘われる季節となりました。

私たち総会準備学年は、個性豊かなメンバーで、頼りになる先輩の皆様にご指導いただきながら、6月の嚶鳴同窓会東京支部総会に向けて準備を進めております。

総会では、招待恩師として栗野紘子先生にお越しいただきます。どんな生徒に対しても公平に暖かく接して下さった栗野先生は、在学中のみならず卒業後も私たちの心の拠り所です。現在、趣味として描かれている水彩画をプログラムの挿絵として使わせていただく予定でおります。

また、エンターテイメントでは小野麻紀子さんによる「によこてんのコメディショー」～パントマイムとバルーンによる喜劇～を披露させていただきます。

平成元年に入学し、「令和」元年の嚶鳴同窓会東京支部総会の準備学年として西高に関わることができ、本当に嬉しく思います。

当日、皆様楽しいひとときをお過ごしいただけるよう、これからも精一杯頑張っております。お会いできることを心より楽しみにしております。

【令和元年度 嚶鳴同窓会東京支部総会】

2019(令和元)年6月10日(日)ホテルオークラ東京 別館 B2F アスコットホール

今年度総会では、昨年度よりの懸案事項であった年会費の値上げについて決議される予定です。

出席される方は、同封の振込用紙に必要な事項を記載して総会費と会費をお振込みください。また欠席の方も、年会費のお振込みも同じ振込用紙にて承っております。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成30年度 活動報告

1月	17日	新旧役員会・監査・引継ぎ
2月	24日	第1回評議員会/役員・総会準備学年会
	28日	東京支部プレゼンテーション(本部同窓会入会式にて)
4月	11日	第2回評議員会/役員・準備学年会
5月	16日	第3回評議員会/役員・準備学年会
6月	2日	総会準備最終打ち合わせ(於:ホテルオークラ東京)
6月	10日	嚶鳴同窓会東京支部総会(於:ホテルオークラ東京)
	20日	役員会
	30日	第4回評議員会/役員・準備学年反省会
9月	8日	第13回ウェルカムパーティー(於:コホテラステラガ)
10月	20日	総会準備学年引継ぎ会(平成2年卒から平成3年卒へ)
	25日	山形西高等学校創立120周年記念式典出席
	28日	嚶鳴同窓会本部総会出席
11月	14日	新旧役員会

平成31年度 東京支部役員

支 部 長	鹿野 由貴 (S48 卒)	監 査	宮沢 厚子 (S36 卒)
副支部長	川田まき子 (S47 卒)	"	上妻 元子 (S51 卒)
"	宮川 香子 (S58 卒)	顧 問	田中 克子 (S32 卒)
庶 務	野本 明美 (S51 卒)	"	笠井ひで子 (S44 卒)
"	村林 三恵 (S52 卒)		
会 計	亀岡 利恵 (S63 卒)	総会準備学年 (平成4年卒)	
"	木下真智子 (S63 卒)	代 表	青山 智恵 張ヶ谷麻生
"	城 幸子 (H1 卒)		熊倉 美香 中原 美都
広 報	田中 由紀 (S60 卒)		堀野 倫子 深川 亜紀
"	武部美智子 (S61 卒)		

平成30年度 会計報告

支 部 長	鹿野 由貴
会 計	鈴木みゆき 亀岡 利恵 木下真智子

<一般会計>

1.収入の部	
前年度より繰越	2,369,297 円
年会費	1,014,500 円
総会会費	2,730,000 円
特別会計より新卒生総会参加費補助	30,000 円
本部より助成金	150,000 円
ご祝儀	90,000 円
雑収入	17 円
計	6,383,814 円
2.支出の部	
会議費	149,444 円
印刷費	62,659 円
事務用品費	15,182 円
通信費	241,803 円
渉外費	101,990 円
役員・準備学年活動費	150,000 円
事業費	3,981,876 円
総会	3,315,871 円
ウェルカムパーティー	31,590 円
東京支部プレゼンテーション	3,587 円
ホームページ・情報誌制作	630,828 円
計	4,702,954 円
3.差引残高	1,680,860 円
*1月~6月の運営費として、平成31年度へ繰り越し	

<特別会計(一筆箋・はがき)>

1.収入の部	
前年度より繰越	451,581 円
一筆箋売上げ	47,200 円
はがき売上げ	9,250 円
口座利子	4 円
計	508,035 円
2.支出の部	
新卒生総会参加費補助として一般会計へ	30,000 円
計	30,000 円
3.差引残高	478,035 円

<会計監査報告>

帳簿・領収書等を照合の結果、適正に行われていることを認めます。

監査 栗林伊与子 上妻 元子

◇ 庶務・会計は、学年の順送りとなっており、当該学年より推薦されます。監査については、支部長が選任しました。

嚶鳴同窓会東京支部の情報はこちらでも発信しています。

ホームページ <http://www.oumeitokyo.net/>

メールアドレス dousoukai@oumeitokyo.net

支部へのご登録・連絡先変更・お問い合わせは、

ホームページの「お問い合わせフォーム」よりご連絡ください



Facebook、Twitter、Instagram、LINEは、@oumeitokyo で検索